

井城小学校

上野小学校

金田小学校

伊方小学校

市場小学校

方城中学校

金田中学校

赤池中学校

井城小学校

上野小学校

金田小学校

伊方小学校

市場小学校

方城中学校

金田中学校

赤池中学校

↓下級生が靴をそろえた後も「ちゃんとできたわ」と優しく声をかけます。



「1月は、そろえよう運動強調月間です。靴や傘などをきちんとそろえましょう」手づくりの旗を手に、環境委員会の6年生が15分休みと昼休みに玄関でアピール。廊下まで響くほどの大きな声でみんなに呼びかけました。外で元気に遊んできた児童は、環境委員さんの呼びかけに応じてきっちりと靴をそろえていました。



校歌

一、福智の山の峯高く
英彦の流れ水清し
雄々しき自然の懐に
生い立健児十二百

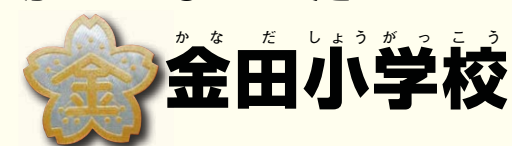
二、大日輪の輝きに
希望の影の揺ぐ見よ
虚空を払う青柳に
堂々の威の動く見よ

三、暑気三伏の夏の日も
北風身に沁む冬の日も
薄衣一つ鍛錬を
倦まぬ我等が意気見ずや

四、蒼穹の下冷砂場
真黒の鉄腕さしのべて
中廻をやる健児等の
瞳遠けき意気高し

五、降々の肉黒さ肌
堅忍持久の心持で
強さみ民とならんかな
やがて雄々しく飛ばんかな

かしこく なかよく たくましく



[Data]

■所在地 福智町金田 962 番地 ☎ 22-0061
■学校長 原田宏志 ■教職員数 37人
■学級数 19学級 ■児童数 522人

- か**しこく…… 自分の考えを確かに表現する子ども「国語力」
- な**かよく…… 友達と認め合い仲よくする子ども「社会性」
- た**くましく… 根気強く最後までやりとげる子ども「耐性」

福智のやまやまと彦山川の豊かな自然に囲まれた環境、そして明治5年から続く135年もの伝統を受け継いできた金田小学校では、次の3つをテーマにした教育に取り組んでいます。

3 たくましく(耐性)
「少々のごではくじけません」
「当たり前前」
「当たり前前」これは簡単なようですが、意外に難しいものです。「靴をそろえる」も当たり前前のことですが、どうでしょう…。難しくありませんか。いつ何時でもきちんとそろえるためには、自分の弱さと闘わなければなりません。本校では、そういう自分との闘いを通して、たくましさや育てています。「世の中は95%以上が自分の思い通りにならない」ということを子どもの頃から体感させるべきだと考え



↑上級生も下級生もなかよくたのしく。

りする6年生を見て、「下級生は「すごい」と感嘆の声をもらし、5年生は、「6年になつたら、あのようになりたい」と6年生へのあこがれと尊敬をいただきます。「ピア仲間・サポート(支え合い)」これが、キーワードです。



↑一人一人の心掛けで、きれいにそろった靴。



↑この一年間で、めきめき上達した1年生。

1 かしこく(国語力)
「書く力を伸ばします」
本校では、「国語力」がすべての学習の基礎と考え、「言葉による人間づくり」に取り組んでいます。「ねえ、ねえ、どう書こうか」遊んだことを書いている1年生の教室からは、こんな声が聞こえてきます。1学期は「あいうえお」の表を参考にしながら文を書いていた1年生も、今ではすっかり自分の力で書けるようになりました。「ほく、いっぱい書けたよ」笑顔がはじけます。



↑下級生を優しく支える上級生。

2 なかよく(社会性)
「6年生がお手本です」
6年生が下級生をお世話する活動を通して、子ども同士のつながりを深め、6年生を中心とした縦のつながりに支えられた学校づくりに取り組んでいます。

上学年は意見文にも挑戦しています。自分の主張をしっかりともち、それを支える材料を集めて選び、どう組み立てて文章にするか、考えながら書いています。上学年の教室からは、「相手を説得するためにも、もう一回書く材料を集め

ています。「くつも心もそろえよう!」パツチリときれいにそろおう気持よさ」「全校のお手本になるべくくつ」こんなキャッチフレーズの中にも子どもたちの成長がうかがえます。

お世話する活動は、全校集会・あいさつ運動・分団登校など様々です。「自分たちがお手本にならないといけない!」全校のために働いているんだと思った」という声が聞こえ、6年生には、「下級生の役に立っている」という自己有用感と最上級生としての自覚が育ち、学校を支えていることとする姿勢ができています。進んであいさつをしたり、全校集会時に真っ先に体育館に行き、静かに待った

